平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	日本語3 (Japanese 3)			授業コード	A023253
担当教員名	古川　俊雄			科目ナンバリングコード	A10707
配当学年	1	開講期	前期、後期		
必修・選択区分	選択	単位数	2		
履修上の注意または履修条件	「日本語3」の受講は「日本語1」「日本語2」の単位を修得していることが条件です。 また、「日本語3」は必修「日本語4」と合わせて受講してください。 なお、下記基準1，2，3の条件を満たしたものは必修「日本語4」の単位認定が受けられます。 後続の必修「日本語4」は日本語能力試験N2レベル相当以上に達することが単位認定の条件です。 ※N2レベル相当とは、次の基準のいずれかに該当するレベルのことです。 ①基準1　日本語能力試験N2以上の合格。 ②基準2　J-TESTのA-Dレベルで1000点中500点以上の得点。 ③基準3　BJTビジネス日本語テストでJ2レベル相当、800点中420点以上の得点。				
受講心得	・日本語能力試験をはじめ、後続の必修「日本語4」の単位認定条件である日本語能力試験N2レベル相当の認定を受けるための事前準備を進めておきましょう。 ・授業は前期は1クラス、後期は能力別3クラス編成で行いますが、評価については共通試験を実施し、共通の基準で評価します。 ・日本語基礎力に課題のある学生についてはサポートタイム(※別科教員が対応)で取り出して学習を手助けします。その他日本語の疑問や質問などがある場合にもこのサポートタイムを利用してください。 ・日本語能力試験N2以上の受験を考えている学生は特別講座である「日本語能力試験対策講座」に参加してください。また日本語能力試験受験をする場合は出願期間中に出願手続きを済ませておいてください。				
教科書	『N2読解スピードマスター』(Jリサーチ出版)、プリント教材				
参考文献及び指定図書	『N2聴解スピードマスター』(Jリサーチ出版) 『ドリル&ドリル日本語能力試験N2聴解・読解』(UNICOM Inc.)				
関連科目	日本語1、日本語2、日本語4				

授業の目的	①学部講義を理解するための基礎的な日本語能力を伸ばすため、「読むトレーニング」と「聞くトレーニング」の両面から総合的なスキルアップを図る。 ②能力的目標レベルとして日本語能力試験N2レベルの基礎的な理解力、運用力を身につける。 ③聴解や読解のテーマや話題を理解し、その内容を要約したり意見を述べたりするなど大学での講義を受講する上での実践的な日本語力を身に付ける。
授業の概要	毎時間「聞くトレーニング」として、講義理解を促すための日本語能力試験N2レベルの聴解課題、「読むトレーニング」として、講義レベルのテキスト読解・情報理解を促すための日本語能力試験N2レベルの読解課題に取り組み、語彙・文型・内容理解の基礎力増強と発話能力の向上を図る。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 : プレースメントテスト	
第 2 週 : 聞くトレ　聴解課題　課題理解 読むトレ　読解課題　語彙・文型・内容理解(短文)	配布資料 学習課題の時間　30分
第 3 週 : 聞くトレ　聴解課題　課題理解 読むトレ　読解課題　語彙・文型・内容理解(短文)	配布資料 学習課題の時間　30分

第 4 週 : 聞くトレ　聴解課題　ポイント理解 読むトレ　読解課題　語彙・文型・内容理解（短文）	配布資料 学習課題の時間　30分
第 5 週 : 聞くトレ　聴解課題　ポイント理解 読むトレ　読解課題　語彙・文型・内容理解（短文）	配布資料 学習課題の時間　30分
第 6 週 : 聞くトレ　聴解課題　概要理解 読むトレ　読解課題　語彙・文型・内容理解（中文）	配布資料 学習課題の時間　30分
第 7 週 : 聞くトレ　聴解課題　概要理解 読むトレ　読解課題　語彙・文型・内容理解（中文）	配布資料 学習課題の時間　30分
第 8 週 : 聞くトレ　聴解課題　即時応答 読むトレ　読解課題　語彙・文型・主張理解（長文）	配布資料 学習課題の時間　30分
第 9 週 : 聞くトレ　聴解課題　即時応答 読むトレ　読解課題　語彙・文型・主張理解（長文）	配布資料 学習課題の時間　30分
第10週 : 聞くトレ　聴解課題　統合理解 読むトレ　読解課題　語彙・文型・統合理解	配布資料 学習課題の時間　30分
第11週 : 聞くトレ　聴解課題　統合理解 読むトレ　読解課題　語彙・文型・統合理解	配布資料 学習課題の時間　30分
第12週 : 聞くトレ　聴解課題　統合理解 読むトレ　読解課題　語彙・文型・情報検索	配布資料 学習課題の時間　30分
第13週 : 聞くトレ　聴解課題　課題理解・ポイント理解 読むトレ　読解課題　語彙・文型・内容理解（短文）	配布資料 学習課題の時間　30分
第14週 : 聞くトレ　聴解課題　概要理解・即時応答 読むトレ　読解課題　語彙・文型・内容理解（中文）	配布資料 学習課題の時間　30分
第15週 : 口頭発表・質疑応答による面接試験	配布資料 学習課題の時間　30分
第16週 : 期末試験 期末試験(全クラス共通問題JTEST；A-Dレベル問題＜読解・文法＞)	

授業の運営方法	（1）授業の形式	「演習等形式」
	（2）複数担当の場合の方式	「複数クラス方式」
	（3）アクティブ・ラーニング	
地域志向科目		
備考	能力別2クラスで授業は行いますが、期末試験は共通問題で実施します。	

○単位を修得するために達成すべき到達目標

【関心・意欲・態度】	①自分の抱える日本語能力の弱点に気づき、自分なりに問題解決に向けて取り組めるようになる。
【知識・理解】	②日本語能力試験N2レベルの、語彙力（漢字力、語形成、文脈規定、類義表現など）を身につける。 ③日本語能力試験N2レベルの、実践的文法力（文の文法、文章の文法）を身につける。
【技能・表現・コミュニケーション】	④日本語能力試験N2レベルの、まとまりのある聴解テキストを聞いて理解できる（情報取りができる。ポイント聞きができる。話者の意図・主張が理解できる。など）。
【思考・判断・創造】	⑤日本語能力試験N2レベルの、読解文（短文～比較的長い説明文・指示文、評論・解説・エッセイ、広告・パンフ・雑誌・新書など）を読んで、因果関係や理由、概要や筆者の考え方などが理解でき、必要な情報が探し出せる。

〇成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等（テスト）	レポート・作品等（提出物）	発表・その他（無形成果）	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。				
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。	80点	10点	10点	
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。				
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。				

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

〇配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安

成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等（提出物）	原則として、毎回、授業で扱う「読むトレ」「聞くトレ」練習課題に関する語彙・文型・内容理解、そのテーマに関した宿題を出しますので、かならず提出してください。達成水準の目安は以下の通りです。 ［Sレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 ［Aレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 ［Bレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 ［Cレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。
発表・その他（無形成果）	2～3人のグループごとに、授業で扱う「読むトレ」「聞くトレ」練習課題の中の語彙・文型・内容理解、そのテーマに関した発表活動を行います。達成水準の目安は以下の通りです。 ［Sレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 ［Aレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 ［Bレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 ［Cレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。